

職業実践専門課程の基本情報について

学校名		設置認可年月日		校長名		所在地																																							
帯広コア専門学校		昭和60年12月25日		千葉 直樹		〒 080-0021 (住所) 帯広市西11条南41丁目3-5 (電話) 0155-48-6000																																							
設置者名		設立認可年月日		代表者名		所在地																																							
学校法人帯広コア学園		昭和60年12月25日		理事長 千葉 直樹		〒 080-0021 (住所) 帯広市西11条南41丁目3-5 (電話) 0155-48-6000																																							
分野	認定課程名	認定学科名				専門士	高度専門士																																						
工業	工業専門課程	高度情報システム科(Webクリエイターコース)				平成6年文部科学省 告示第84号	-																																						
学科の目的	Web管理、ネットワーク構築ができる技術者をを目指す (1)ソフトウェアに関する知識 (2)ハードウェアに関する知識 (3)Web活用技術 (4)ネットワーク関連の知識 (5)問題解決能力を身につける																																												
認定年月日	平成28年2月19日																																												
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技																																						
3年	昼間	2525	1140	615	770	0	0																																						
生徒総定員	生徒実員	留学生数(生徒実員の内)		専任教員数	兼任教員数	総教員数																																							
45人	16人	0人		4人	19人	23人																																							
学期制度	■前期: 4月1日~9月30日 ■後期: 10月1日~3月31日			成績評価	■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 評価の基準: 出席状況、定期試験の結果により評価 評価の方法: ア 評定Sは、総合評価が9割以上 イ 評定Aは、総合評価が8割以上																																								
長期休み	■春 季: 3月16日~4月5日 ■夏 季: 8月1日~8月21日 ■冬 季: 12月17日~1月9日			卒業・進級条件	卒業要件:																																								
学修支援等	■クラス担任制: 有 ■個別相談・指導等の対応 担当教員が本人との面談を実施し問題の解決と、学習意欲の向上を図る。また保護者への連絡を密にし生活の乱れを防止する。			課外活動	■課外活動の種類 (例) 学生自治組織・ボランティア・学園祭等の実行委員会等 学生会組織・学園祭等の実行委員会 ボランティアへの参加・フードパントリーとかちマラソン(大会スタッフ) ■サークル活動: 無 ■国家資格・検定/その他・民間検定等 (令和3年度卒業生に関する令和4年5月1日時点の情報)																																								
就職等の状況※2	■主な就職先・業界等(令和3年度卒業生) (株)サトウ			主な学修成果 (資格・検定等) ※3	<table border="1"> <thead> <tr> <th>資格・検定名</th> <th>種別</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>C言語プログラミング能力 認定試験 3級</td> <td>③</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>情報システム試験</td> <td>③</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>ビジネス能力検定 3級</td> <td>③</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>ビジネス文書技能検定 3</td> <td>③</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					資格・検定名	種別	受験者数	合格者数	C言語プログラミング能力 認定試験 3級	③	1	1	情報システム試験	③	1	1	ビジネス能力検定 3級	③	1	1	ビジネス文書技能検定 3	③	1	1																
	資格・検定名	種別	受験者数		合格者数																																								
	C言語プログラミング能力 認定試験 3級	③	1		1																																								
	情報システム試験	③	1		1																																								
ビジネス能力検定 3級	③	1	1																																										
ビジネス文書技能検定 3	③	1	1																																										
■就職指導内容 担当教員との面談、面接試験模擬練習、就職試験時に面接の練習			※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①~③のいずれかに該当するか記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他(民間検定等)																																										
■卒業生数 1 人 ■就職希望者数 1 人 ■就職者数 1 人 ■就職率 100 % ■卒業者に占める就職者の割合 : 100 %			■自由記述欄 (例) 認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等 -																																										
■その他 ・進学者数: 0人 (令和 3 年度卒業生に関する令和4年5月1日時点の情報)																																													
中途退学の現状	■中途退学者 1 名 令和3年4月1日時点において、在学者13名(令和3年4月1日入学者を含む) 令和4年3月31日時点において、在学者12名(令和4年3月31日卒業生を含む) ■中途退学の原因 進路変更			■中退率 8 %																																									
経済的支援制度	■学校独自の奨学金・授業料等減免制度: 有 ※有の場合、制度内容を記入 ・在校生特待制度(1年後期から半期ごと)授業料5万円免除。 ・就学支援特別奨学金(1年次、有能な資質を有し、向上心に富み、経済的理由)選考の上授業料の10万円を免除。 ・緊急給付特別奨学金(在学中)家計が急変し、就学が困難になった在校生に選考の上授業料の10万円を免除。 ■専門実践教育訓練給付: 非給付対象 ※給付対象の場合、前年度の給付実績者数について任意記載 -																																												
第三者による	■民間の評価機関等から第三者評価: 無 ※有の場合、例えば以下について任意記載																																												

学校評価	評価団体： -	受審年月： 0	評価結果を掲載した ホームページURL -
当該学科の ホームページ URL	https://www.core.ac.jp/obicore/course/advanced-information-system/		

(留意事項)

1. 公表年月日(※1)

最新の公表年月日です。なお、認定課程においては、認定後1か月以内に本様式を公表するとともに、認定の翌年度以降、毎年度7月末を基準日として最新の情報を反映した内容を公表することが求められています。初回認定の場合は、認定を受けた日以降の日付を記入し、前回公表年月日は空欄としてください

2. 就職等の状況(※2)

「就職率」及び「卒業者に占める就職者の割合」については、「文部科学省における専修学校卒業者の「就職率」の取扱いについて(通知)(25文科生第596号)」に留意し、それぞれ、「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」又は「学校基本調査」における定義に従います。

(1)「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」における「就職率」の定義について

①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものをいいます。

②「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者を含みません。

③「就職者」とは、正規の職員(雇用契約期間が1年以上の非正規の職員として就職した者を含む)として最終的に就職した者(企業等から採用通知などが出された者)をいいます。

※「就職(内定)状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等とします。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除きます。

(2)「学校基本調査」における「卒業者に占める就職者の割合」の定義について

①「卒業者に占める就職者の割合」とは、全卒業者数のうち就職者総数の占める割合をいいます。

②「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいいます。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしません(就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う)。

(3)上記のほか、「就職者数(関連分野)」は、「学校基本調査」における「関連分野に就職した者」を記載します。また、「その他」の欄は、関連分野へのアルバイト者数や進学状況等について記載します。

3. 主な学修成果(※3)

認定課程において取得目標とする資格・検定等状況について記載するものです。①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの、②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの、③その他(民間検定等)の種別区分とともに、名称、受験者数及び合格者数を記載します。自由記述欄には、各認定学科における代表的な学修成果(例えば、認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等)について記載します。

職業実践専門課程の基本情報について

学校名		設置認可年月日		校長名		所在地																																													
帯広コア専門学校		昭和60年12月25日		千葉 直樹		〒 080-0021 (住所) 帯広市西11条南41丁目3-5 (電話) 0155-48-6000																																													
設置者名		設立認可年月日		代表者名		所在地																																													
学校法人帯広コア学園		昭和60年12月25日		理事長 千葉 直樹		〒 080-0021 (住所) 帯広市西11条南41丁目3-5 (電話) 0155-48-6000																																													
分野		認定課程名		認定学科名		専門士		高度専門士																																											
工業		工業専門課程		高度情報システム科(ロボットプログラミングコース)		平成6年文部科学省 告示第84号		-																																											
学科の目的		Web管理、ネットワーク構築ができる技術者をを目指す (1)ソフトウェアに関する知識 (2)ハードウェアに関する知識 (3)Web活用技術 (4)ネットワーク関連の知識 (5)問題解決能力を身につける																																																	
認定年月日		平成28年2月19日																																																	
修業年限		昼夜		講義		演習		実習		実験		実技																																							
3年		2525		1140		615		770		0		0																																							
生徒総定員		生徒実員		留学生数(生徒実員の内)		専任教員数		兼任教員数		総教員数		時間																																							
45人		16人		0人		4人		19人		23人																																									
学期制度		■前期: 4月1日~9月30日 ■後期: 10月1日~3月31日		成績評価		■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 評価の基準: 出席状況、定期試験の結果により評価 評価の方法: ア 評定Sは、総合評価が9割以上 イ 評定Aは、総合評価が8割以上																																													
長期休み		■春 季: 3月16日~4月5日 ■夏 季: 8月1日~8月21日 ■冬 季: 12月17日~1月9日		卒業・進級条件		卒業要件:																																													
学修支援等		■クラス担任制: 有 ■個別相談・指導等の対応 担当教員が本人との面談を実施し問題の解決と、学習意欲の向上を図る。また保護者への連絡を密にし生活の乱れを防止する。		課外活動		■課外活動の種類 (例) 学生自治組織・ボランティア・学園祭等の実行委員会等 学生会組織・学園祭等の実行委員会 ボランティアへの参加・フードパントリーとかちマラソン(大会スタッフ) ■サークル活動: 無 ■国家資格・検定/その他・民間検定等 (令和3年度卒業者に係る令和4年5月1日時点の情報)																																													
就職等の状況※2		■主な就職先・業界等(令和3年度卒業生) (株)サトウ ■就職指導内容 担当教員との面談、面接試験模擬練習、就職試験時に面接の練習 ■卒業生数 1 人 ■就職希望者数 1 人 ■就職者数 1 人 ■就職率 100 % ■卒業者に占める就職者の割合 : 100 % ■その他 ・進学者数: 0人 (令和3年度卒業者に係る令和4年5月1日時点の情報)		主な学修成果(資格・検定等)※3		<table border="1"> <thead> <tr> <th>資格・検定名</th> <th>種別</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>C言語プログラミング能力認定試験 3級</td> <td>③</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>情報システム試験</td> <td>③</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>ビジネス能力検定 3級</td> <td>③</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>ビジネス文書技能検定 3</td> <td>③</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①~③のいずれかに該当するか記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他(民間検定等)</p> <p>■自由記述欄 (例) 認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等</p>						資格・検定名	種別	受験者数	合格者数	C言語プログラミング能力認定試験 3級	③	1	1	情報システム試験	③	1	1	ビジネス能力検定 3級	③	1	1	ビジネス文書技能検定 3	③	1	1																				
資格・検定名	種別	受験者数	合格者数																																																
C言語プログラミング能力認定試験 3級	③	1	1																																																
情報システム試験	③	1	1																																																
ビジネス能力検定 3級	③	1	1																																																
ビジネス文書技能検定 3	③	1	1																																																
中途退学の現状		■中途退学者 1名 令和3年4月1日時点において、在学者13名(令和3年4月1日入学者を含む) 令和4年3月31日時点において、在学者12名(令和4年3月31日卒業者を含む) ■中途退学の原因 進路変更 ■中退防止・中退者支援のための取組 本人、保護者と面談を行い、奨学金など支援方法を検討。学生の学習レベルに応じた個別指導の実施や資格取得支援を通じ学習意欲の向上を図る。看護師を配置し相談体制の確保。学生会を設け、学生同士が交流しやすい環境づくり。		■中退率 8%																																															
経済的支援制度		■学校独自の奨学金・授業料等減免制度: 有 ※有の場合、制度内容を記入 ・在校生特待制度(1年後期から半期ごと)授業料5万円免除。 ・就学支援特別奨学金(1年次、有能な資質を有し、向上心に富み、経済的理由)選考の上授業料の10万円を免除。 ・緊急給付特別奨学金(在学中)家計が急変し、就学が困難になった在校生に選考の上授業料の10万円を免除。 ■専門実践教育訓練給付: 非給付対象 ※給付対象の場合、前年度の給付実績者数について任意記載																																																	
第三者による		■民間の評価機関等から第三者評価: 無 ※有の場合、例えば以下について任意記載																																																	

学校評価	評価団体： -	受審年月： 0	評価結果を掲載した ホームページURL -
当該学科の ホームページ URL	https://www.core.ac.jp/obicore/course/advanced-information-system/		

(留意事項)

1. 公表年月日(※1)

最新の公表年月日です。なお、認定課程においては、認定後1か月以内に本様式を公表するとともに、認定の翌年度以降、毎年度7月末を基準日として最新の情報を反映した内容を公表することが求められています。初回認定の場合は、認定を受けた日以降の日付を記入し、前回公表年月日は空欄としてください

2. 就職等の状況(※2)

「就職率」及び「卒業者に占める就職者の割合」については、「文部科学省における専修学校卒業者の「就職率」の取扱いについて(通知)(25文科生第596号)」に留意し、それぞれ、「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」又は「学校基本調査」における定義に従います。

(1)「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」における「就職率」の定義について

①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものをいいます。

②「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者を含みません。

③「就職者」とは、正規の職員(雇用契約期間が1年以上の非正規の職員として就職した者を含む)として最終的に就職した者(企業等から採用通知などが出された者)をいいます。

※「就職(内定)状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等とします。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除きます。

(2)「学校基本調査」における「卒業者に占める就職者の割合」の定義について

①「卒業者に占める就職者の割合」とは、全卒業者数のうち就職者総数の占める割合をいいます。

②「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいいます。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしません(就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う)。

(3)上記のほか、「就職者数(関連分野)」は、「学校基本調査」における「関連分野に就職した者」を記載します。また、「その他」の欄は、関連分野へのアルバイト者数や進学状況等について記載します。

3. 主な学修成果(※3)

認定課程において取得目標とする資格・検定等状況について記載するものです。①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの、②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの、③その他(民間検定等)の種別区分とともに、名称、受験者数及び合格者数を記載します。自由記述欄には、各認定学科における代表的な学修成果(例えば、認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等)について記載します。

職業実践専門課程の基本情報について

学校名		設置認可年月日		校長名		所在地																																											
帯広コア専門学校		昭和60年12月25日		千葉 直樹		〒 080-0021 (住所) 帯広市西11条南41丁目3-5 (電話) 0155-48-6000																																											
設置者名		設立認可年月日		代表者名		所在地																																											
学校法人帯広コア学園		昭和60年12月25日		理事長 千葉 直樹		〒 080-0021 (住所) 帯広市西11条南41丁目3-5 (電話) 0155-48-6000																																											
分野	認定課程名	認定学科名				専門士	高度専門士																																										
工業	工業専門課程	高度情報システム科 (ICTセキュリティコース)				平成6年文部科学省 告示第84号	-																																										
学科の目的	Web管理、ネットワーク構築ができる技術者をを目指す (1)ソフトウェアに関する知識 (2)ハードウェアに関する知識 (3)Web活用技術 (4)ネットワーク関連の知識 (5)問題解決能力を身につける																																																
認定年月日	平成28年2月19日																																																
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技																																										
3年	昼間	2525	1140	615	770	0	0																																										
生徒総定員	生徒実員	留学生数(生徒実員の内)		専任教員数	兼任教員数	総教員数																																											
45人	16人	0人		4人	19人	23人																																											
学期制度	■前期: 4月1日~9月30日 ■後期: 10月1日~3月31日			成績評価	■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 評価の基準: 出席状況、定期試験の結果により評価 評価の方法: ア 評定Sは、総合評価が9割以上 イ 評定Aは、総合評価が8割以上																																												
長期休み	■春 季: 3月16日~4月5日 ■夏 季: 8月1日~8月21日 ■冬 季: 12月17日~1月9日			卒業・進級条件	卒業要件:																																												
学修支援等	■クラス担任制: 有 ■個別相談・指導等の対応 担当教員が本人との面談を実施し問題の解決と、学習意欲の向上を図る。また保護者への連絡を密にし生活の乱れを防止する。			課外活動	■課外活動の種類 (例) 学生自治組織・ボランティア・学園祭等の実行委員会等 学生会組織・学園祭等の実行委員会 ボランティアへの参加・フードパントリーとかちマラソン(大会スタッフ) ■サークル活動: 無 ■国家資格・検定/その他・民間検定等 (令和3年度卒業生に関する令和4年5月1日時点の情報)																																												
就職等の状況※2	■主な就職先・業界等(令和3年度卒業生) (株)サトウ			主な学修成果 (資格・検定等) ※3	<table border="1"> <thead> <tr> <th>資格・検定名</th> <th>種別</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>C言語プログラミング能力 認定試験 3級</td> <td>③</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>情報システム試験</td> <td>③</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>ビジネス能力検定 3級</td> <td>③</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>ビジネス文書技能検定 3</td> <td>③</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					資格・検定名	種別	受験者数	合格者数	C言語プログラミング能力 認定試験 3級	③	1	1	情報システム試験	③	1	1	ビジネス能力検定 3級	③	1	1	ビジネス文書技能検定 3	③	1	1																				
	資格・検定名	種別	受験者数		合格者数																																												
	C言語プログラミング能力 認定試験 3級	③	1		1																																												
	情報システム試験	③	1		1																																												
ビジネス能力検定 3級	③	1	1																																														
ビジネス文書技能検定 3	③	1	1																																														
■就職指導内容 担当教員との面談、面接試験模擬練習、就職試験時に面接の練習			※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①~③のいずれかに該当するか記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他(民間検定等)																																														
■卒業生数 1 人 ■就職希望者数 1 人 ■就職者数 1 人 ■就職率 100 % ■卒業者に占める就職者の割合 : 100 %			■自由記述欄 (例) 認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等 -																																														
■その他 ・進学者数: 0人 (令和 3 年度卒業生に関する令和4年5月1日時点の情報)																																																	
中途退学の現状	■中途退学者 1 名 令和3年4月1日時点において、在学者13名 (令和3年4月1日入学者を含む) 令和4年3月31日時点において、在学者12名 (令和4年3月31日卒業生を含む) ■中途退学の原因 進路変更		■中退率 8 %																																														
経済的支援制度	■学校独自の奨学金・授業料等減免制度: 有 ※有の場合、制度内容を記入 ・在校生特待制度(1年後期から半期ごと)授業料5万円免除。 ・就学支援特別奨学金(1年次、有能な資質を有し、向上心に富み、経済的理由)選考の上授業料の10万円を免除。 ・緊急給付特別奨学金(在学中)家計が急変し、就学が困難になった在校生に選考の上授業料の10万円を免除。 ■専門実践教育訓練給付: 非給付対象 ※給付対象の場合、前年度の給付実績者数について任意記載 -																																																
第三者による	■民間の評価機関等から第三者評価: 無 ※有の場合、例えば以下について任意記載																																																

学校評価	評価団体： -	受審年月： 0	評価結果を掲載した ホームページURL -
当該学科の ホームページ URL	https://www.core.ac.jp/obicore/course/advanced-information-system/		

(留意事項)

1. 公表年月日(※1)

最新の公表年月日です。なお、認定課程においては、認定後1か月以内に本様式を公表するとともに、認定の翌年度以降、毎年度7月末を基準日として最新の情報を反映した内容を公表することが求められています。初回認定の場合は、認定を受けた日以降の日付を記入し、前回公表年月日は空欄としてください

2. 就職等の状況(※2)

「就職率」及び「卒業者に占める就職者の割合」については、「文部科学省における専修学校卒業者の「就職率」の取扱いについて(通知)(25文科生第596号)」に留意し、それぞれ、「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」又は「学校基本調査」における定義に従います。

(1)「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」における「就職率」の定義について

①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものをいいます。

②「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者を含みません。

③「就職者」とは、正規の職員(雇用契約期間が1年以上の非正規の職員として就職した者を含む)として最終的に就職した者(企業等から採用通知などが出された者)をいいます。

※「就職(内定)状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等とします。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除きます。

(2)「学校基本調査」における「卒業者に占める就職者の割合」の定義について

①「卒業者に占める就職者の割合」とは、全卒業者数のうち就職者総数の占める割合をいいます。

②「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいいます。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしません(就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う)。

(3)上記のほか、「就職者数(関連分野)」は、「学校基本調査」における「関連分野に就職した者」を記載します。また、「その他」の欄は、関連分野へのアルバイト者数や進学状況等について記載します。

3. 主な学修成果(※3)

認定課程において取得目標とする資格・検定等状況について記載するものです。①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの、②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの、③その他(民間検定等)の種別区分とともに、名称、受験者数及び合格者数を記載します。自由記述欄には、各認定学科における代表的な学修成果(例えば、認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等)について記載します。

1. 「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

- ・企業等における現在のニーズ、雇用の流動化にスピーディに対応する
- ・最新の実務の知識・経験に基づく実践的な知識・技術等を教授する
- ・経済社会のグローバル化に対応できる

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

教育課程編成委員会等は、教育運営規則第3条により各学科ごとに置かれる。教育編成委員会で決定されたことはカリキュラム検討委員会で諮られ、教育課程の編成が決定される。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和〇年〇月〇日現在

名前	所属	任期	種別
高田 聡史	北海道ITコーディネータ協議会 十勝支部長	令和4年4月1日～令和5年3月31日(1年)	①
瀬川 友輔	(株)農業情報設計者 取締役	令和4年4月1日～令和5年3月31日(1年)	③
中谷 俊雄	FPオフィスライズ 代表	令和4年4月1日～令和5年3月31日(1年)	③
千葉 直樹	帯広コア専門学校 校長	令和4年4月1日～令和5年3月31日(1年)	
小野 眞靖	帯広コア専門学校 情報系学科	令和4年4月1日～令和5年3月31日(1年)	
西原 歩	帯広コア専門学校 情報系学科	令和4年4月1日～令和5年3月31日(1年)	
佐藤 佐織	帯広コア専門学校 情報系学科	令和4年4月1日～令和5年3月31日(1年)	
村川 貴康	帯広コア専門学校 事務長	令和4年4月1日～令和5年3月31日(1年)	

※委員の種別の欄には、企業等委員の場合には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。(当該学校の教職員が学校側の委員として参画する場合、種別の欄は「-」を記載してください。)

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年2回(10月、2月)

(開催日時(実績))

第1回 令和3年11月16日 16:30～17:30

第2回 令和4年2月22日 16:30～17:30

0

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。

「検定対策」は希望者を対象に集中的に実施する。「プログラミング特論」は地域活動に近いので「地域社会貢献」へ統合する。

「Linux基礎」は今より前(2年次)にできると3年は応用からでき、特論の授業にもつながる。

サーバーの脆弱性を見るために「UNIX」を先に進めてほしい。「IoT」と「AI」は3年次より早くあってもいい。

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習（以下「実習・演習等」という。）の授業を行っていること。」関係

(1) 実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

実践において学ぶことにより「① 学習意欲の向上 ② 専門知識・技能の充実・深化 ③ 高い職業意識の醸成 ④ 責任感・自立心の形成」を目的とする。

また、講義等で得た知識を確認するとともに実社会におけるルールを肌で感じ、組織の中で生きる上で必要な振舞いやマナーを身に付ける。

(2) 実習・演習等における企業等との連携内容

※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

1年次にプログラマー・IT技術者としての知識と技能の基本を学んだ上で、本校協賛企業のご協力を得て、実習を行う。

受け入れ先医療機関(病院・保険薬局)とは事前協議・実習内容の確認を行い、覚書を交わした上で実習を実施し、実習生に対して実習後に評価をいただく。

学生各自は実習前に受け入れ先医療機関について調べ、実習中に現場で特に何を学ぶべきかの目標を立て、目標達成するための行動を考えて実習に入る。実習中は一日の目標と反省を日誌に記録し、実習指導者からの意見・指導を仰ぐこととする。

(3) 具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	科目概要	連携企業等
企業実習	希望する職種での就業体験をすることにより、その職業・職種の内容を体感し、社会性を身に付けます。	帯広商工会議所、デジタルグラフィ
企業実習ゼミ	また、学校で学んでいる内容が企業でどのように使われ、グループ単位に自らのシーズを基に企業から依頼されたテーマに沿って、アイデア・企画提案をし、実現へ向けて企業からのレビューを受けながら調査・研究・開発等を行い	(有)ワンエックス、(有)保険オフィス
#REF!	#REF!	#REF!
#REF!	#REF!	#REF!
#REF!	#REF!	#REF!

3.「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1)推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記

(1)推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記

本校では「常広コア専門学校研修等に関する規則」に研修、実施方針等について定めている。
第2条基本方針に基づき、各学科で夏・冬・春休み期間を利用して積極的に参加する。
教員から要望が出た時は、予算を含めて検討している。

・自らの専門性(知識・技術)を高める研修

(2)研修等の実績

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名:	#REF!	連携企業等:	#REF!
期間:	#REF!	対象:	#REF!
内容	#REF!		
研修名:	オンライン教育の新しい形メタバース	連携企業等:	国立情報学研究所
期間:	44519	対象:	教育関係
内容	メタバースの学習活用・教育メタバース(デジタルキャンパス)を基盤とした大学DX化の促進		
研修名:	進化し続けるアプロン〜AWSの歴史と非連続的なイノベーションの連続〜	連携企業等:	Amazon
期間:	44583	対象:	一般
内容	Webアプリケーションのいろは・AWSの管理する方法		
②指導力の修得・向上のための研修等			
研修名:	コア学園グループ研修会「発達障害を理解する 常広畜産大学 人間科学研究部門 教授(心理学) 渡邊芳之」	連携企業等:	コア学園グループ
期間:	44427	対象:	コア学園グループ教職員
内容	発達障害の理解。発達障害を持つ学生の人字・仕字中の発見についての対心。発達障害の正しい知識と知識の適切なアップデートの必要性。		
研修名:	#REF!	連携企業等:	#REF!
期間:	#REF!	対象:	#REF!
内容	#REF!		
研修名:	#REF!	連携企業等:	#REF!
期間:	#REF!	対象:	#REF!
内容	#REF!		

(3) 研修等の計画

① 専攻分野における実務に関する研修等

研修名:	注目されるデザインが簡単に？3つの奥義を伝授！Canva 使いこなしセミナー	連携企業等:	キャンノンシステムアンドサポート株式会社
期間:	44880	対象:	一般
内容:	簡単デザイン3ステップ・ターゲットに合わせたデザインを作るためのリサーチ方法・きれいなデザインを作るためのコツ4つ		
研修名:	ファイルサーバーリプレース時の選択	連携企業等:	キャンノンマーケティングジャパン株式会社
期間:	令和4年12月8日(木)	対象:	情報システム部門向け
内容:	オンプレサーバーにリプレースする場合の構成でどの様な事を考えるか		
研修名:	#REF!	連携企業等:	#REF!
期間:	#REF!	対象:	#REF!
内容:	#REF!		

② 指導方の修得・向上のための研修等

研修名:	コーチングの理論とその活用について	連携企業等:	北専各連
期間:	44775	対象:	専門学校教員
内容:	コーチングとティーチングの違い。学生に対してどのように接するのか、高校卒業したばかりの学生は自己肯定感も下がってきたばかりであり、専門学校では学生との関りのなかでそういったこともふまえて対応し		
研修名:	多様な学生への向き合い方	連携企業等:	進研アド
期間:	44846	対象:	専門学校教員
内容:	一人ひとりに合わせた最適化指導とは。新入生が抱える課題整理。学生一人ひとりの課題に合わせて個別指導		
研修名:	#REF!	連携企業等:	#REF!
期間:	#REF!	対象:	#REF!
内容:	#REF!		

5. 「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1) 企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

どのような学校であり、どのような状況であるのかなど学校全体の状況を把握できるようにする。

・教育目標や教育活動の計画、状況、実績について必要な情報を提供し説明する

・学校の特色や取組みを地域にアピールする

(2) 「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1) 学校の概要、目標及び計画	#REF!
(2) 各学科等の教育	#REF!
(3) 教職員	#REF!
(4) キャリア教育・実践的職業教育	#REF!
(5) 様々な教育活動・教育環境	#REF!
(6) 学生の生活支援	#REF!
(7) 学生納付金・修学支援	#REF!
(8) 学校の財務	#REF!
(9) 学校評価	#REF!
(10) 国際連携の状況	
(11) その他	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 情報提供方法

(ホームページ・広報誌等の刊行物・その他())

URL: <https://www.core.ac.jp/obicore/school-information/disclosure/>

公表時期: 44682

授業科目等の概要

(工業専門課程高度情報システム科 (Webクリエイターコース))															
分類	必修	選択必修	自由選択	授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業単位数	授業方法			場所			企業等との連携	
								講義	演習	実験・実習・実	校内	校外	専任		兼任
	○			ビジネスコミュニケーション	実際の仕事で即戦力として活用するための「対話力」を伸ばします。社内・社外を問わず、多くの人達とのコミュニケーションなしに、ビジネスは成り立ちません。ビジネスコミュニケーションの良し悪しは、仕事上の成果や、事業目的に大きな影響を与えます。本 座では、実践的なビジネスコミュニケーション力を身に付けます	1後	30	2	○	○	○		○		
	○			英語 I a	バランスの取れた4技能（リスニング、スピーキング、リーディング、ライティング）を学び、英語の基礎から着実に理解できるようにする。	1前	60	4	○		○			○	
	○			英語 I b	バランスの取れた4技能（リスニング、スピーキング、リーディング、ライティング）を学び、英語の基礎から着実に理解できるようにする。	1後	60	4	○		○			○	
	○			英語 I a	バランスの取れた4技能（リスニング、スピーキング、リーディング、ライティング）を学び、英語の基礎から着実に理解できるようにする。	2前	60	4	○		○			○	
	○			英語 I b	バランスの取れた4技能（リスニング、スピーキング、リーディング、ライティング）を学び、英語の基礎から着実に理解できるようにする。	2後	60	4	○		○			○	
	○			英語 I a	バランスの取れた4技能（リスニング、スピーキング、リーディング、ライティング）を学び、英語の基礎から着実に理解できるようにする。	3前	60	4	○		○			○	
	○			英語 I b	バランスの取れた4技能（リスニング、スピーキング、リーディング、ライティング）を学び、英語の基礎から着実に理解できるようにする。	3後	60	4	○		○			○	
	○			英語 II a	リスニング、スピーキング、リーディング、ライティングを総合的に学び、ビジネスにおいても使える英語力を身につける。	1前	60	4	○		○			○	
	○			英語 II b	リスニング、スピーキング、リーディング、ライティングを総合的に学び、ビジネスにおいても使える英語力を身につける。	1後	60	4	○		○			○	
	○			英語 II a	リスニング、スピーキング、リーディング、ライティングを総合的に学び、ビジネスにおいても使える英語力を身につける。	2前	60	4	○		○			○	
	○			英語 II b	リスニング、スピーキング、リーディング、ライティングを総合的に学び、ビジネスにおいても使える英語力を身につける。	2後	60	4	○		○			○	
	○			英語 II a	リスニング、スピーキング、リーディング、ライティングを総合的に学び、ビジネスにおいても使える英語力を身につける。	3前	60	4	○		○			○	
	○			英語 II b	リスニング、スピーキング、リーディング、ライティングを総合的に学び、ビジネスにおいても使える英語力を身につける。	3後	60	4	○		○			○	
	○			英語 III a	リスニング、スピーキング、リーディング、ライティングを総合的に学び、ビジネスにおいても使える英語力を身につける。	1前	60	4	○		○			○	
	○			英語 III b	リスニング、スピーキング、リーディング、ライティングを総合的に学び、ビジネスにおいても使える英語力を身につける。	1後	60	4	○		○			○	
	○			英語 III a	リスニング、スピーキング、リーディング、ライティングを総合的に学び、ビジネスにおいても使える英語力を身につける。	2前	60	4	○		○			○	
	○			英語 III b	リスニング、スピーキング、リーディング、ライティングを総合的に学び、ビジネスにおいても使える英語力を身につける。	2後	60	4	○		○			○	
	○			英語 III a	リスニング、スピーキング、リーディング、ライティングを総合的に学び、ビジネスにおいても使える英語力を身につける。	3前	60	4	○		○			○	
	○			英語 III b	リスニング、スピーキング、リーディング、ライティングを総合的に学び、ビジネスにおいても使える英語力を身につける。	3後	60	4	○		○			○	
	○			心理学	心理学のさまざまな研究分野のうち、知覚と認知、人の発達、行動の学習、社会的行動という領域をとりあげて、その基礎知識を学ぶとともに、臨床心理学の基本的な考え方や技術についても知る。	2前	30	2	○	○	○			○	
	○			ビジネスリテラシー	キャリアと仕事について学び、自らの職業観や勤労観、ビジネス常識および基礎的なコミュニケーション、情報の活用など将来職業人として適応するための基本姿勢、基礎能力を身に付ける。	1前	30	2	○		○			○	
	○			キャリアデザイン I	自分のキャリア（仕事人生）について考え、啓発的な行動・経験を行うことを目的とする。グループワークをとおして、自分の価値観・興味・能力を探る。さらにキャリアを自ら選択し、決定するための必要な力を考える。社会人基礎力を意識しながら、働くことの意義と仕事を通してどう生きていくかを学ぶ。	1後	30	2	○	○	○				
	○			就職対策講座 I	自己の適性を把握し就職意欲の向上をはかる。将来の目標を明確に持つことによって就職への動機づけを行う	1後	30	2	○	○	○			○	
	○			就職対策講座 II	就職内定へ向けて、模擬面接の実施、また、企業訪問・説明会等を通し、学生自身の意識や新社会人としての心構えを向上させる	2前	30	2	○	○	○			○	

